

カルチャーセンター 完成予定は来年三月

六十三年度から四か年の継続事業として進めているカルチャーセンターの建設ですが、本年度は建設事業費として、約九億六千九百万円を計上しました。前年度比七億二千八百万円の増で、市制施行三十周年を迎える平成元年度事業の重点施策となつていきます。完成予定は平成二年三月で、記録的な暖冬により、工事は急ピッチで進められ、一日も早い完成が待たれます。

道路などの整備に全力

皆さんの要望が最も多い「道路整備」——躍進するまちの動脈として、本年度も引き続き全力をそそぎます。

▽国道 昨年十一月十六日付で都市計画道路として決定した国道8号白根道路。本年度は国県の協力を得ながら、早期実現に努めます。また、中央通交差点改良工事に着手し、車・歩道の整備拡幅の早期完成に努力します。

▽県道 白井バイパス、白根バイパスの早期完成に努め、他の県道についても、県と協議のうえ、整備促進に努力します。

▽市道 市民生活と密着する集落内の道路、排水施設などの整備に力を入れ、前年度比三三%



▲平成2年3月の完成を目指し工事は急ピッチ（カルチャーセンター）

増の一億円余を計上しました。また、市の公共事業として、菱瀧新田尾線、小蔵子白蓮線の改良整備、茨曾根免新田線の交通安全施設整備事業、諏訪木鍋瀧線の改良舗装工事、須藤小路線の歩道設置などに取り組みます。

さらに農村総合整備モデル事業により道路、排水路の整備と防火水槽の設置をします。

▽都市計画街路 国道四車線化の促進と併せ、市街地通過車両による交通渋滞緩和と主要路線の整備を図ります。用地の一括先行取得が完了している市道鎌瀧古川線は、平成二年度完成に向けて工事を進めます。

▽ほ場関連道路 計画路線の早期完成に向けて、取り組んでいきます。

塩俵橋架け替え 調査費を計上

老朽化が著しい塩俵橋は、早い時期の架け替えが必要です。本年度はその調査費として、五百万円を計上しました。

また、皆さんの生命や財産を水から守る治水事業に、本年度も力を入れて取り組めます。信濃川堤防低部対策事業、中ノ口川脆弱堤防対策事業など、継続的に取り組めます。

さらに、地盤沈下対策、排水対策についても、力を入れます。

●私もひと言



山田 節子さん
(中蔵ノ木・30歳)
(会社員)

だんだん子どもの数が少なくなつて、保育園も統合されましたが、遠距離通園の便宜を図ってもらいたいですね。バスは部落でめんどろを見てくれるというのですが、いちばん困ったのが運転手の問題です。それに個人負担もばかになりません。市から一人当たり五百円の補助があるという話ですが、もっと増やしてもらいたいと思います。北部中学校も場所が決まったということですが、大鷲方面からの通学路も整備してほしいですね。

例えば、カルチャーセンター建設のように、長い間使用できる施設に充てられる市債は、長期にわたって少しずつ返していけることになりません。このことは、後の世代の人も建設費を負担していくことになるわけで、税負担の公平という点からも、合理的といえます。

一方、借金の元金や利息などを返済するのが公債費です。今年度予算の歳出に占める公債費の割合は二・一％。前年度予算よりも減少しています。

決してゆとりがあるとは言えない市の財政ですが、引き続き公債費比率の引き下げに努力しながら、財政の健全化に努めていきます。厳しい財政をやりくりしてこそ価値のある仕事ができる、市では精いっぱい努力を続けています。



▲老朽化が進む塩俵橋

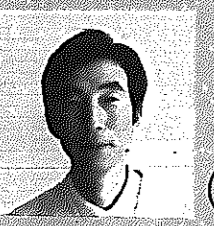
土地利用計画 見直し

現在、市の土地利用計画は、農振法と都市計画法による計画を策定していますが、都市の諸活動が最も効率的に行われるよう、土地利用全般についての基本的方向付けが必要となつていきます。本年度は国土法に基づく国土利用計画白根計画の策定を進め、限られた土地資源の効果を最大限に活用を図ります。

住居表示を実施

昨年五月に実施した日の出町に引き続き、本年度は諏訪木、水道町地域を実施する予定です。説明会を開き、皆さんの合意を得ながら、第一次計画区域で実施できるような努力をします。

●私もひと言



半戸 千郎さん
(高井団地・35歳)
(会社員)

市外に勤務しているせい、市の行政や将来的な姿があまり見えないうな気がしています。財政的な事情が優先して、施策に市民の要望が反映されにくいのでしょうか。ベッドタウン化にしても、工業化にしても、中途半端で場当たり的な感じがします。

また、ちまたに言われる教育現場の荒廃も、教師の質によるところが大きいのではないかと、全体的に若い先生が多く、指導面で、若さの悪い面が出ているような気がしています。

特別会計

- 老人保険**
予算総額18億9,852万円
人口の高齢化に伴い、医療費総額は依然として増加しています。健康づくり運動の推進と病類分析、訪問指導などにより、医療費の適正化に取り組めます。
- 国民健康保険**
予算総額19億1,242万円
国保3%運動を柱とした事業運営を推進します。積極的に健康づくり運動を展開するため、保健施設費を9.5%増の1,393万円計上しました。

